

あかぎ通信 No.3

第1回あかぎ会議（ワークショップ）を開催しました

令和3年11月8日に県立赤城公園ビジターセンター（ヒュッテハヤシカフェ）において、第1回あかぎ会議を開催しました。

当日は地元住民の方を中心に27名の方にご参加いただきました。ワークショップでは“赤城公園の魅力”を中心にたくさんの意見をいただき、とても有意義な場となりました。参加されたみなさま、お疲れ様でした！！

第1回あかぎ会議の概要

日時：11月8日 14:30～17:40
場所：ヒュッテハヤシカフェ
参加者：27名

1 事業概要説明

- ・事業概要、赤城会議の説明
- ・スローシティ概要の説明

2 ワークショップ（テーマは以下の2項目）

- ・私が感じている“いま”の赤城公園の魅力
- ・私が公園利用者から聞いている赤城公園の魅力



📷 会議の様子



トークグラフィッカーの山口さんにみなさまから出た意見を分かりやすくグラフィック（絵）でまとめていただきました。

詳細は別紙をご覧ください。

【会議概要】 ① 事業概要の説明

1. 事業経緯



近年、我々を取り巻く環境・社会情勢（新型コロナウイルスへの対応、公園利用者ニーズの多様化など）がめまぐるしく変化していく中で、**今後、赤城公園はどの方向へ舵をとっていくのか、考えなければならない時期**を迎えています。

○多様化する利用者ニーズ



新たなアクティビティ



テレワークやワーケーション

○持続可能な公園管理・運営体制の確立（施設の老朽化、維持管理費の増大）



維持管理費（県立3公園）



活用前



活用後

財源、新たな担い手の確保

2. 赤城公園の活性化に向けた基本構想



10年後の赤城公園の“めざす姿”を取りまとめた設計図

①赤城エリアの活性化、②自立性のある持続可能な公園の管理・運営を推進するため、みなさまとの対話の中で、赤城公園に求められる機能や役割を整理し、今後の赤城エリアが持つ自然環境やアウトドア資源等を活用した各種取り組みをまとめるものです。

事業スケジュール

令和3年度

年度末（令和4年3月）までに基本構想の策定

令和4年度～

順次、事業着手（具体的な検討開始）

【会議概要】 ① 事業概要の説明

3. 今後の進め方



月1回程度、みなさまと意見交換、情報共有する場「あかぎ会議」を開催します。

○今後のスケジュール（案）

会議・個別訪問	内容	得たい成果
今回		
第1回（11月8日）	・ 事業概要の説明 ・ ワークショップ	・ 基本構想のベースとなる情報 赤城公園に対する思い 赤城公園の魅力、強み 活性化に向けたアイデアなど
個別訪問（11月下旬）	・ 第1回会議の概要説明 ・ 追加意見等の吸い上げ	
第2回（12月中旬）	・ 基本構想（たたき台）の提示	・ たたき台に対する意見 ・ 継続的な検討課題の抽出
第3回（1月下旬）	・ 基本構想（素案）の提示	・ 素案に対する意見
パブリックコメント（2～3月のうち1ヶ月程度）		
第4回（3月下旬）	・ 基本構想の説明 ・ 次年度事業の説明	・ 次年度事業に対する意見

4. スローシティの概要



前橋市では、今後のまちづくりの方向性として「スローシティ」の理念を大切にしたいまちづくりを目指しています。

スローシティとは？

- ・ イタリアの小さな町発祥の取り組み
- ・ 世界30か国278都市が参加する国際的なネットワーク
- ・ 日本では、宮城県気仙沼市と前橋市のみ加盟



地域の食や農産物、生活・歴史文化、自然環境を大切にしたい個性・多様性を尊重する新しいまちづくり

**スロー：豊かさ、心地よさ、人間サイズ
人間らしさ、多様性、持続可能性**

市民一人一人の
生活の豊かさ

デジタル最先端技術や規制緩和により、便利で暮らしやすいまちを実現する「前橋市スーパーシティ構想」においても、「スーパーシティ」の実現により、日常の負担を軽減することで、日々の暮らしにゆとりが生まれ、そのゆとりで自分らしく生き生きとした生活を送る「スローシティ」の実現を目指しています。



赤城山・大沼大自然エリア

ネイチャー&カルチャーゾーン

【会議概要】 ② ワークショップ



ワークショップは参加者を4グループに分けて、次の2テーマについて、お聞きしたところ、様々な意見が出てきました。

テーマ① 私が感じている“いま”の赤城公園の魅力

テーマ② 私が公園利用者から聞いている赤城公園の魅力

テーマ① 私が感じている“いま”の赤城公園の魅力

それぞれのジャンル（景観・自然環境、アクティビティ、歴史・文化、食事）について、魅力をお聞きしたところ、主に次のものが出てきました。

景観・自然環境

雲海、朝日、ツツジ、草もみじ、スカイツリー、星空、アイスバブル、気嵐ほか写真スポットが多数

歴史・文化

文豪・文化人が愛した場所、赤城神社の伝説、むかでとへびの伝説ほか

アクティビティ

木登り体験、ハイジのブランコ、ワカサギ釣り、スノーシューツアー、秘境ツアー、滝巡りほか

食事

日本一美味しいワカサギ、山菜ラーメン

① 私が感じている“いま”の赤城公園の魅力



意見の一例



トークグラフィッカー®山口翔太

【会議概要】 ② ワークショップ



ワークショップは参加者を4グループに分けて、次の2テーマについて、お聞きしたところ、様々な意見が出てきました。

テーマ① 私が感じている“いま”の赤城公園の魅力

テーマ② 私が公園利用者から聞いている赤城公園の魅力

テーマ② 私が公園利用者から聞いている赤城公園の魅力

テーマ①と同様、それぞれのジャンルについて、お聞きしたところ、景観・自然環境、アクティビティに関する魅力が多数出てきました。

景観・自然環境

自然の美しさ、涼しさ、ゆっくり過ごせる環境（チェアリングなど）、テレワークに向いている、花の種類が多い、星空、雲海、ドライブに最適ほか

歴史・文化

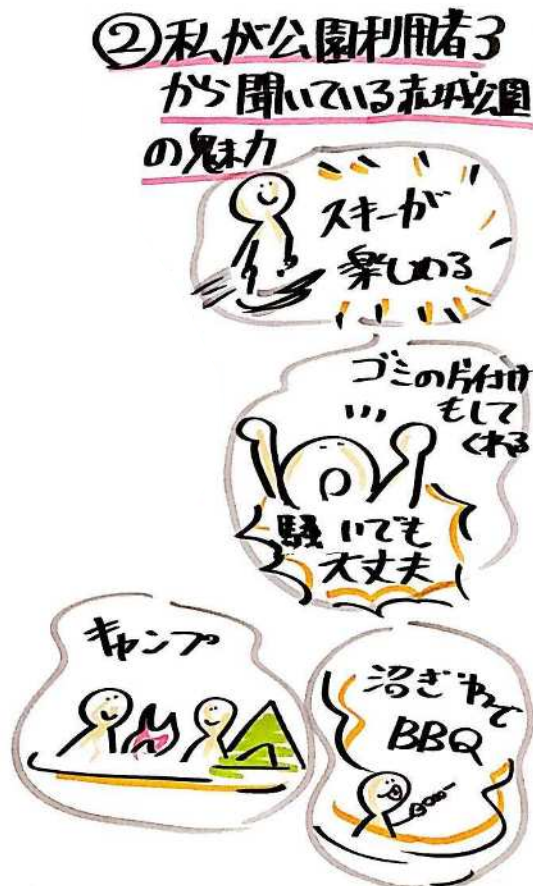
(意見なし)

アクティビティ

登山（子供でも登れる、登山バリエーションが豊富）、カヌー・カヤック、ワカサギ釣り、キャンプ、BBQ、スキー場、滝巡り、高山トレーニングほか

食事

(意見なし)



意見の一例



トークグラフィッカー®山口翔太

【会議概要】 ② ワークショップ

今後の検討項目ほか

テーマ①、②を踏まえ、今後、検討していくべき項目をお聞きしたところ、沢山のご意見や感想が出てきました。

景観・自然環境

- ・黒檜山頂からの景観の見せ方を検討（展望台の整備ほか）
- ・登山道と案内板の整備した方がよい
- ・手を入れてこそ自然環境は残る、何もしないのはダメ
- ・保全すべき環境とその方法は？
- ・人があふれていない時間帯の湖畔が非日常で気持ちが良い
- ・赤城の涼しさを伝えるため、温度差を知らせるための情報発信をしてはどうか

アクティビティ

- ・ビジターセンターを登山、トレラン、散策の拠点にした方がよい
- ・水辺利用アクティビティ（大沼、小沼）を推進してはどうか
- ・赤城を高地トレーニングのメッカにする、そのためのグラウンドが欲しい
- ・厚生団地の有効活用した方がよい
- ・山中に散策道を増やしたい
- ・アイスクライミングが出来る場の整備、白樺牧場にロング乗馬コースの整備をしてはどうか

歴史・文化

- ・赤城の歴史を利用者にどのように伝えていくべきか
- ・歴史とアクティビティを組み合わせアトラクションの中で歴史や文化を伝えてはどうか
- ・赤城に伝わる伝説の掘り起こしがしたい、赤城神社の歴史をもっと知りたい
- ・文豪が愛した青木旅館
- ・文豪をモチーフにした部屋や作品を置く、文豪女子の聖地にしてはどうか

食事

（意見なし）

その他

- ・赤城公園ってどんな公園？
- ・若者の感じ方を知りたい（山ガール、山ボーイの声を聞きたい）
- ・SNSやインフルエンサーを利用し口コミで魅力を広める
- ・新しいことをするにも人手が足りない、魅力を担う人材の確保が必要
- ・駐車場トイレの有料化
- ・赤城の魅力（自然環境）でお金が取れる場所は有料化する
- ・役所の縦割りを一元化、県・市・地元の連携があまりないので今回の取組に期待
- ・公の場所でのマナー向上を図るべき
- ・シカの猟について知りたい

発行・問合せ先

群馬県環境森林部自然環境課

電話：027-226-2876 メール：shizen-koen@pref.gunma.lg.jp